

F-11 ヒューマン・エコロジーを軸とした 家政学への提言(第6巻)

— 未来家政学へのアプローチ —

ヒューマン・エコロジー研究所

松田喜美子

目的 20余年後において 21世紀を迎へる今日、人類をとりまく生存への危機状況を、グローバルな視野に立ち、家政学が果たす役割りを、ヒューマン・エコロジカルな思考と手法で、ひとつの手がかりとして、22年以來解明してきた。今後この広範囲な研究をさらに探究するものである。

方法

11. 環境の作用 (内的・外的の課題)

1. ヒューマン・エコロジーの概念
2. ヒューマン・エコロジーの手法
3. ヒューマン・エコロジーの導入
4. 家庭科教育における展開
5. 学校教育・生涯教育における展開
6. 学際的研究へのアプローチ。
7. トータル・マネジメントとしての家政学
8. グローバル・ファミリー ~~の~~ 家族形態
9. コミュニケーションと映像の役割り
10. 人口問題と家政学

成果

この結果未来社会に対応すべき家政学が方向の次のうちにおいて明らかになった。

1. 人類生存に対する本質的アプローチ
 2. 社会変化の対応手法
- エコロジカルな手法として日本家政学の役割り。